

枚方市学校給食会

第2回学校給食費検討特別委員会 会議録

令和7年9月30日作成

開催日時	令和7年9月30日（火曜日） 15時00分から 16時00分まで
開催場所	輝きプラザきらら3階 教育委員会室
出席者	齋藤委員、木場委員、栂山委員、山田委員、金子委員、藤田委員、 岩國委員
欠席者	井上委員、墨川委員、上杉委員
案件名	1. 会議録の確認について 2. 答申書（案）について
提出された資料等の 名称	1. 第1回学校給食費検討特別委員会 会議録 2. 給食費の調査について 3. 今後の学校給食費のあり方について（答申）案
決定事項	
会議の公開、非公開の別 及び非公開の理由	公開
会議録の公表、非公表の 別及び非公表の理由	公表
傍聴者の数	-人

発言者	審議内容
事務局	<p>1. 開会</p> <p>ただ今より、第2回学校給食費検討特別委員会を開会する。</p>
事務局	<p>2. 委員及び事務局紹介</p> <p>【委員紹介】</p> <p>本日は、10名の委員のうち、7名が出席し、設置要項第5条第2項に基づき会議が成立している。</p>
委員長	<p>3. 案件（1）会議録の確認について</p> <p>案件（1）会議録の確認についてについて事務局より説明を求む。</p>
事務局	<p>【資料①説明】</p>
委員長	<p>会議録の内容について説明があったが、調査事項となっていた部分について、事務局より説明を求む。</p>
事務局	<p>市の財政部局の調整結果については、国・市の財政、いわゆる税金を給食費の予算とするには、余裕を見ての金額や想定額ではなく、実情に基づいたものとするべきであり、そのうえで今年度の新米価格の高騰を見据えた金額とするものと考えて、との意見であった。次に、大阪府下の政令市・中核市・北河内地域への調査結果では平均日額は279.42円。米の高騰もあり、13市中11市が令和7年4月以降に給食費改定を行う予定で、残りの2市についても改定はしないが、さらなる物価高騰分を市から補填することとしている。改定額が決まっている自治体の平均日額は307.75円で、約30円近く上昇している。次に、ゼリーが1品として考えられているのか、という献立品目数の質問についてであるが、デザートや果物がつく日は、おかずの品目としては減るが、3品の日に比べて1品あたりのボリュームがあるものと組み合わせて必要な栄養量を満たせるように献立を作成している。</p>
委員長	<p>給食費の検討にあたり、各校長の意見を取りまとめたので報告する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食費の値上げも設定金額も妥当である ・教職員分の値上げ額が大きいので、負担軽減できないか ・給食の充実のために、提案よりさらに上げたほうがいい ・前回の改定から10年経っており、給食費の定期的な見直しを行うべき
委員	<p>栄養士の意見を取りまとめたので報告する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・摂取エネルギーが不足している現状、もっと高くてもいい ・献立や衛生の充実のために、単価を上げてほしい <p>フライ等で加工されたものを使用する方が単価は高いが衛生的である</p>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・国の無償化の具体的な内容についての情報が必要 ・給食費の見直しの会議を定期的に行うべき ・天候等の影響で青果等が高騰することもあるので、余裕は必要 <p>国は、小学校給食費無償化の具体的な法制度について8月までに示すとしていたが、9月末現在で示されていない。無償化の金額の算定の仕方や範囲などは現時点で未定。ただし、国が令和8年度から小学校給食無償化を実施するとしている以上、枚方市としても予算化の必要がある。</p> <p>給食費についてさまざまな意見を多数いただいた。</p> <p>前提として、給食費の無償化の財源が国でも市でも税金が原資となるので、給食費の設定金額について、納得できるだけの根拠が必要である。</p> <p>摂取エネルギーを基準にする場合や主食の回数を議論する場合、現在の給食の残食が課題となる。教職員の給食費の負担軽減については、大阪府の同規模の自治体に確認したところ、実施しているところはない。</p>
委員長	<p>3. 案件（2）答申書（案）について</p> <p>続きまして、案件（2）答申書（案）について事務局より説明を求む。</p>
事務局	<p>まず、改定額についての審議を行う。</p> <p>【資料「事務局案」説明】</p>
委員	<p>国の補助金の方法・方向性が決まっていない。</p> <p>全額を補助してもらえるのであればよいが、地域ごとに一律の金額の補助となる場合や、給食費の一定の割合の補助のようになる場合もある。また補助金がなくなることも考えられる。高い給食費を設定した場合、市の財政に不足分が影響することになる。その点については市の了解は得ているのか。</p>
事務局	<p>小学校給食費の無償化は市長公約であり、市の財政部局としては了解をしている。国の方針を待って、調整していく。</p>
委員長	<p>続きまして、答申（案）について事務局より説明を求む。</p>
事務局	<p>【資料③説明】</p>
委員長	<p>答申で改定額が最も重要であり、説得力のある資料とする必要がある。会議に参加していない人でも、読んで理解できるような答申にしてほしい。</p> <p>また、今後の給食費の改定について検討を定期的に行う件についても記載してほしい。</p> <p>他に質疑や意見はあるか</p>

委員	意見等なし
委員長	<p>4. その他について</p> <p>頂戴した意見をもとに、答申書の案を作成して、次回会議で提出する。 次回の会議日程について案はあるか。</p>
事務局	<p>新米の価格が10月中旬の大阪府学校給食会の会議で提示される予定。その後に会議を行うので、11月上旬で調整を行う。本日の様々な意見を踏まえながら、答申書案について提示させていただく。</p>